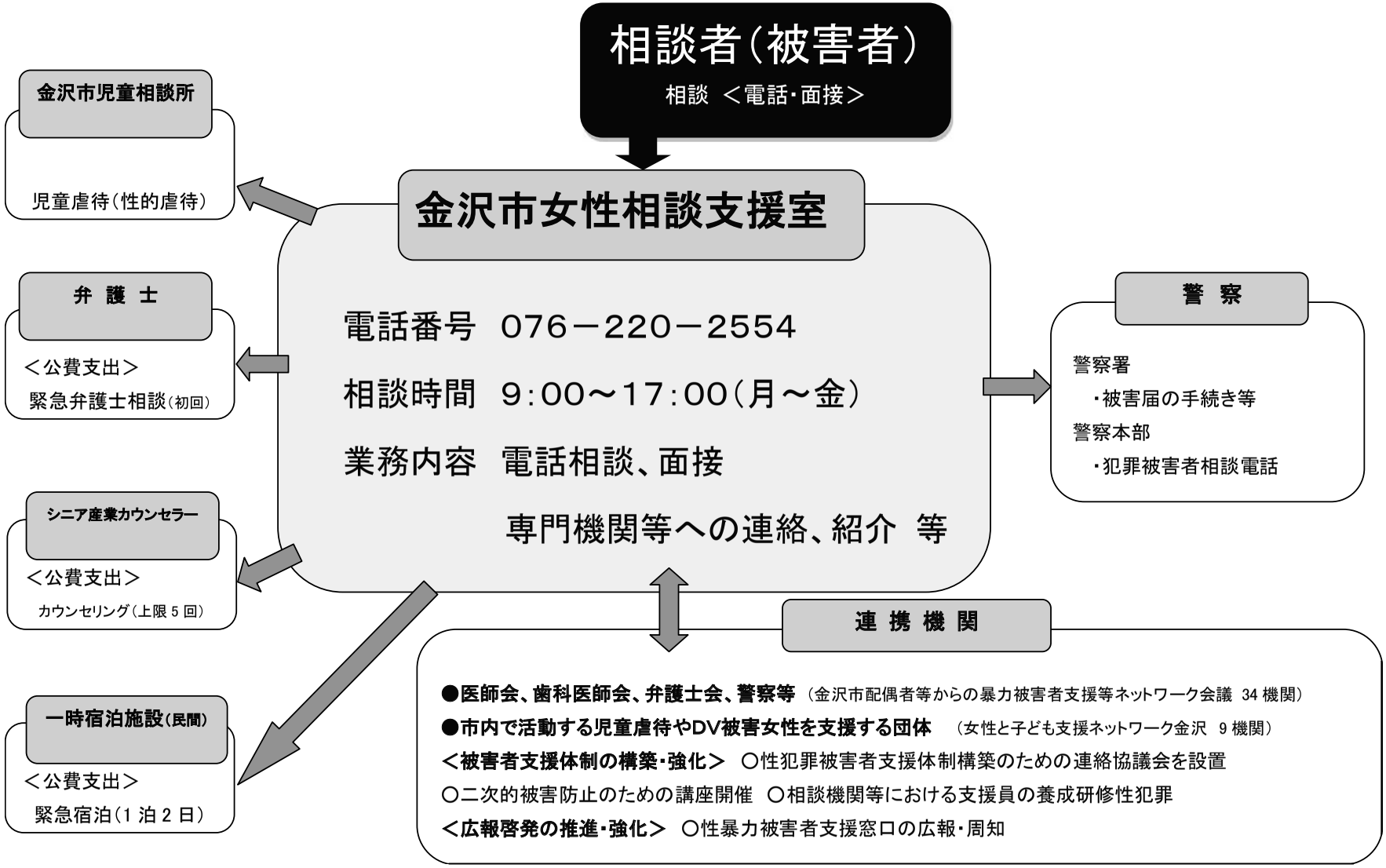
金沢市

金沢市女性相談支援室　性暴力被害者への対応



金沢市：連絡協議会（被害者支援体制の構築・強化）

１．モデル事業実施前の課題

国では、県内に「性犯罪被害に関する相談」を明記して、相談を受けるワンストップ支援センターが少なくとも１つ以上あることが望ましいとしているが、石川県に現在はなく、金沢市においても性犯罪被害者のための相談窓口がない。このことから実態を把握しておらず、被害者が潜在化していると思われる。

配偶者暴力相談支援センターの機能を有している、金沢市女性相談支援室において、各関係機関と連携し、性暴力等被害者に対しどのような支援ができるかを検討する必要がある。また、被害防止啓発と相談窓口の周知を図り、安心して被害を打ち明ける機会の提供が必要である。

２．モデル事業の内容

金沢市性犯罪被害者等支援体制のあり方検討会設置要綱に基づき開催

【第１回金沢市性犯罪被害者等支援体制のあり方検討会】
日　時：平成 27 年８月 28 日（金）１５：３５～１８：００
会　場：金沢市女性センター（金沢市三社町１－44）

【第２回金沢市性犯罪被害者等支援体制のあり方検討会】
日　時：平成 27 年 11 月 27 日（金）１５：００～１６：３０
会　場：金沢市役所４階 405 会議室（金沢市広坂１－１－１）

３．モデル事業実施による成果目標（１の課題に対応するもの）

配偶者暴力相談支援センターの機能を有している、金沢市女性相談支援室において、性犯罪、性暴力被害者の相談に対応できるよう、関係機関・団体との連携体制の強化等、今後の金沢市女性相談支援室のあり方を検討する。

４．実施結果及び成果

【第１回金沢市性犯罪被害者等支援体制のあり方検討会】
日　時：平成 27 年８月 28 日（金）１５：３５～１８：００
会　場：金沢市女性センター（金沢市三社町１－44）

・　講演会１５：３５～１６：３５
　講　師：中島　幸子（NPO 法人レジリエンス）
　「二次被害を与えないために性犯罪や DV を理解する」
・　検討会１６：３５～１８：００
　金沢市性犯罪被害者支援体制のあり方検討会委員　９名（２名欠席）
　オブザーバー：中島　幸子（NPO 法人レジリエンス）

NPO 法人レジリエンス　中島幸子代表にご講演いただき、検討会委員や関係者に対し、性暴力がもたらす影響や、継続した支援の必要性について学んだ。また、金沢市性犯罪被害者支援体制のあり方について、金沢市の方針（案）を提示し、これからの連携体制や、相談員の研修等について意見交換を行った。

【第２回金沢市性犯罪被害者等支援体制のあり方検討会】
日　時：平成 27 年 11 月 27 日（金）１５：００～１６：３０
会　場：金沢市役所４階 405 会議室（金沢市広坂１－１－１）
金沢市性犯罪被害者支援体制のあり方検討会委員　８名（３名欠席）
オブザーバー：性暴力救援センター大阪　運営委員
性暴力救援センター大阪運営委員をオブザーバーに迎え、「性暴力救援センター大阪における被害者支援 SACHICO５年の歩みからみえてくるもの」として相談者の現状や、課題についてお話いただいた。そして、金沢市が目指す性暴力被害者支援体制の方向性として、女性相談支援室を中心とした連携型支援体制とすることがまとめられた。

５．モデル事業実施後の課題（現状）
金沢市が目指す性暴力被害者支援体制として、女性相談支援室を中心とした連携型支援体制であるが、今後、その体制に応じた相談員や、その他関係機関における支援者のスキルアップが必要である。また、医療関係者（精神科医、産婦人科医）、警察、弁護士との連携の強化が必要である。

金沢市：二次被害防止講座（被害者支援体制の構築・強化）

１．モデル事業実施前の課題
石川県内に「性犯罪被害に関する相談」を明記して、相談を受けるセンターがあることが望ましいが現在はなく、金沢市においても性犯罪被害者のための相談窓口がない。このことから実態を把握しておらず、被害者が潜在化していると思われる。配偶者暴力相談支援センターの機能を有している、金沢市女性相談支援室において、性犯罪被害者の相談に対応できるよう、各関係機関の連携体制の構築が必要であるとともに、被害防止啓発と相談窓口の周知を図ることが必要である。

２．モデル事業の内容
【二次被害防止のための関係機関向けの研修の開催】
日　時：平成 27 年８月 28 日（金）１５：３５～
会　場：金沢市女性センター（金沢市三社町１－44）
テーマ：「二次被害を与えないために性犯罪や DV を理解する」
講　師：中島　幸子（NPO 法人レジリエンス）

３．モデル事業実施による成果目標（１の課題に対応するもの）
性犯罪、性暴力被害者の支援に関わる可能性のある関係者に対して、研修会を行うことで、適切な支援ができるよう促す。

４．実施結果及び成果

日　時：平成 27 年８月 28 日（金）１５：３５～

会　場：金沢市女性センター（金沢市三社町１－44）

テーマ：「二次被害を与えないために性犯罪や DV を理解する」

講　師：中島　幸子（NPO 法人レジリエンス）

参加者：・金沢市性犯罪被害者支援体制のあり方検討会委員　９名

金沢市職員　４名

金沢市女性相談員　３名

金沢市配偶者等からの暴力被害者支援等

ネットワーク会議構成員 26 名

５．モデル事業実施後の課題（現状）

今後も、関係機関との支援体制を強化していくためには、性犯罪、性暴力被害者についての正しい知識を学び、適切な対応をしていくことが必要である。性犯罪、性暴力被害者に二次被害を与えないために、継続した研修が必要である。

金沢市：支援員の養成研修（被害者支援体制の構築・強化）

１．モデル事業実施前の課題

性暴力被害者は、被害に遭う方にも問題があると誤って認識されてしまう等、その実態が正しく認識されにくい状況にある。そのため、性暴力は申告したくないという被害者が多く性暴力は潜在化している。金沢市内において性暴力被害者のための相談窓口がなく、実態が把握されていない。

このことから、性暴力被害者が心の奥に封印した性暴力被害について、安心して被害を打ち明けることができるよう、性暴力被害者に関わる可能性のある支援員が、男女共同参画の視点で当事者に寄り添い、必要な支援につなげることが必要である。

２．モデル事業の内容

３日間にわたり、金沢市性暴力被害者支援員養成基礎講座を実施した。

【日　時】平成 28 年１月　９日（土）１３：３０～１６：３０

平成 28 年１月 10 日（日）１０：００～１６：００

平成 28 年１月 11 日（月・祝）１０：００～１６：４５

【対象者】すでに支援をしている人で、今後も被害者の支援活動をしたい人。医療、福祉、法律、教育などの専門職で性暴力の理解を深めたい人など

【場　所】金沢市教育プラザ富樫（金沢市富樫３－10－１）

１号館 121・122 研修室

３．モデル事業実施による成果目標（１の課題に対応するもの）

性暴力被害者に関わる可能性のある支援者が、男女共同参画の視点で当事者に寄り添い、当事者を理解し、二次被害を与えないような十分な配慮と適切なサポートができるよう、性暴力に関する基礎知識、支援員のスタンス等を学ぶ。

４．実施結果及び成果

【１日目】　平成 28 年１月９日（土）１３：３０～１６：３０　参加人数　51 名

①　１３：３０～１５：００

性暴力とは何か～「強かん神話」に気づく

講師：谷田　寿美江（性暴力救援センター・大阪運営委員）

②　１５：１５～１６：３０

支援員としてのスタンス～性暴力救援センターにおける支援員の役割～

講師：谷田　寿美江（性暴力救援センター・大阪運営委員）

【２日目】　平成 28 年１月 10 日（日）１０：００～１６：００　参加人数　53 名

①　１０：００～１０：３０

性暴力救援センターの役割について

講師：谷田　寿美江（性暴力救援センター・大阪運営委員）

②　１０：３０～１２：３０

性暴力救援センターとは何か。その機能と役割

～性暴力救援センター・大阪 SACHICO５年間の実践から～

講師：加藤　治子（産婦人科医・性暴力救援センター・大阪代表）

③　１３：３０～１６：００

性暴力被害の実態

～SACHICO を訪れる子どもたちから見える性暴力の実態～

講師：加藤　治子（産婦人科医・性暴力救援センター・大阪代表）

【３日目】　平成 28 年１月 11 日（月・祝）１０：００～１６：４５　参加人数　51 名

①　１０：００～１２：００

性暴力被害者の心理～トラウマからの回復に必要なこと～

講師：久保田　康愛（精神科医・性暴力救援センター・大阪運営委員）

②　１３：００～１４：３０

性暴力被害者への法的支援について

講師：雪田　樹理（弁護士・性暴力救援センター・大阪運営員）

③　１４：４５～１６：４５

ケーススタディ～これまでの講義内容をふまえケースから学ぶ～

講師：谷田　寿美江、久保田　康愛

・　この講座は、性暴力救援センター・大阪 SACHICO の協力で実施し、３日間で延べ 155 人の受講者が参加した。
・　性暴力とは何かという基本的知識を習得し、支援員としてのスタンスについて、性暴力救援センター・大阪 SACHICO の５年間の実践から性暴力の実態等を学んだ。さらに、３日間の講義内容を踏まえた、ケーススタディを行い、実践的知識も習得することができた。

【研修後アンケート抜粋】
・　基本的な点の確認ができワンストップセンターの必要性を再認識した。
・　性暴力に限らず、すべての暴力被害者の実態、特に心理状態を知ることが支援の質を高め、非暴力の社会に向けて自分にできる事を探し続ける良い機会となった。
・　対人援助を行うにあたっての基本的な注意点や心がけは、共通していることに気づきとても有意義な時間でした。
・　日々実践されている先生方から分かりやすく、また、学ぼうとする私達へもエンパワーするような講義に目が覚めた。様々な職種の方の立場でお話いただけたことが有りがたかった。
・　SACHICO の支援者間の信頼感が素晴らしいと思った。支援するセンターの役割を理解し、支援員間の横の連携がきちんとできている。そういうしくみをつくればいいのだと理解できた。
・　支援に役立つ情報が多く、とても具体的であった。被害者の視点で支援していかなければならないことを再認識した。
・　ケーススタディで様々な意見が聞けてよかった。

５．モデル事業実施後の課題（現状）

今後も継続的に、支援員のスキルアップを目的とした講座・研修を実施し、関係機関における支援員の資質の底上げを目指す。また、金沢市女性相談支援室を中心とした、連携型支援体制の構築のため、産婦人科医・精神科医等の医療関係者、警察、弁護士、その他関係機関との一層の連携体制の構築が必要である。

平成２７年度内閣府性犯罪被害者等のための総合支援モデル事業
金沢市性暴力被害者支援基礎講座

◆研修内容◆

月　日	時　間	内　　容
1/9 (土)	１３:３０～１５:００	性暴力とは何か～「強かん神話」に気づく 講師：谷田　寿美江（性暴力救援センター・大阪運営委員）
	１５:１５～１６:３０	支援員としてのスタンス ～性暴力救援センターにおける支援員の役割～ 講師：上に同じ
1/10 (日)	１０:００～１０:３０	性暴力救援センターの役割について 講師：谷田　寿美江（性暴力救援センター・大阪運営委員）
	１０:３０～１２:３０	性暴力救援センターとは何か。その機能と役割 ～性暴力救援センター・大阪 SACHICO の５年間の実践から～ 講師：加藤　治子 （産婦人科医・性暴力救援センター・大阪代表）
	１３:３０～１６:００	性暴力被害の実態 ～SACHICO を訪れる子どもたちから見える性暴力の実態～ 講師：上に同じ
1/11 (月･祝)	１０:００～１２:００	性暴力被害者の心理 ～トラウマからの回復に必要なこと～ 講師：久保田　康愛 （精神科医・性暴力救援センター・大阪運営委員）
	１３:００～１４:３０	性暴力被害者への法的支援について 講師：雪田　樹理 （弁護士・性暴力救援センター・大阪運営委員）
	１４:４５～１６:４５	ケーススタディ ～これまでの講義内容をふまえケースから学ぶ～ 講師：谷田　寿美江、久保田　康愛